

消防地第 250 号  
平成 29 年 7 月 28 日

各都道府県知事 }  
各指定都市市長 } 殿

消防庁次長  
(公印省略)

### 消防団への加入促進に向けた取組について

消防団は火災出動のみならず、地震や風水害等の大規模災害が発生した際には、被災者の救出・救助や住民の避難支援に当たるなど、多くの局面において地域の消防防災体制の中核的存在として活躍しています。今後、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模災害の発生が懸念されていることも踏まえ、消防庁では、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成 25 年法律第 110 号。以下「消防団等充実強化法」という。）の施行を契機として、消防団への加入促進や消防団員の処遇改善等、消防団の一層の充実強化に取り組んでいるところです。

この度、消防団の現状や各地方公共団体における取組状況の調査を行い、その結果（速報）を公表いたしました。消防団の団員数は年々減少しており、地域防災力の低下が危惧されるところです。平成 29 年 4 月 1 日現在、消防団員数は 850,418 人となり、前年度から 5,860 人減少しています。

このような状況を踏まえ、消防団員の確保に向けて、今後、特に重点的に取り組んでいただきたい事項についてまとめましたので、別紙 1 の事項について、別紙 2 の事例も参考に、積極的な取組を行っていただきますようお願いいたします。

また、各都道府県におかれましては、市町村（一部事務組合等を含む。）に対して、同事項について周知していただくとともに、市町村における消防団の充実強化に向けた、積極的な助言等を行っていただきますようお願いいたします。

なお、本通知は消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 37 条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

**【都道府県の取組事項】**

## 1. 市町村に対する積極的な助言

各都道府県においては、大規模災害時における地域防災体制の確保等の観点からの消防団の重要性に鑑み、消防団員の確保をはじめとした消防団の充実強化に向けて、「市町村の取組事項」に掲げる事項について、市町村に対して積極的な助言を行うとともに、都道府県自ら、2. から 5. の事項について主体的に取り組むこと。

## 2. 経済団体や事業所への働きかけ

消防団員に占める被用者の割合は年々上昇し、平成 29 年 4 月 1 日現在で 73.4% となった。消防団員の確保のためには、これらの被用者団員が所属する事業所の協力が不可欠である。このため、地域の経済団体や事業所等に対して、従業員の消防団への加入促進に向けて働きかけるとともに、消防団員としての活動が円滑に行われるよう、例えば、勤務の免除やボランティア休暇等について配慮する等の消防団活動への協力要請を行うこと。

## 3. 消防団協力事業所に係る特例措置等の導入

平成 29 年 4 月 1 日現在、消防団協力事業所に対する減税措置や入札参加資格の加点等の優遇措置は 26 都道府県において設けられているところ、事業所に対する優遇措置の更なる導入について積極的に検討すること。

## 4. 大学生等の消防団への加入促進

大学生等の消防団員は年々増加し、平成 29 年 4 月 1 日現在で 3,970 人となっており、これらの学生消防団員については卒業後においても地域防災の担い手となることが期待される。このため、学生の消防団への加入促進、学生消防(分)団の設置、消防団活動に参加する学生等に対する修学上の配慮、学生等の消防団活動の積極的な評価等について、各都道府県立大学をはじめとする大学等に対して、積極的に働きかけを行うこと。

## 5. 公務員の消防団への加入促進

平成 29 年 4 月 1 日現在、公務員の消防団員は年々増加し、平成 29 年 4 月 1 日現在 67,151 人となっている。「消防団等充実強化法」における公務員の消防団員との兼職及び職務専念義務の免除に係る特例規定も踏まえ、都道府県職員の消防団への加入促進を図ること。

## 【市町村の取組事項】

### 1. 消防団への加入促進

#### (1) 被用者の消防団への加入促進

##### ○ 経済団体や事業所への働きかけ

消防団員の約 7 割程度が被用者団員となっており、消防団員の確保のためには、事業所の協力が不可欠である。このため、地域の経済団体や事業所等に対して、従業員の消防団への加入促進に向けて働きかけるとともに、消防団員としての活動が円滑に行われるよう、例えば、勤務の免除やボランティア休暇等について配慮する等の消防団活動への協力要請を行うこと。

##### ○ 消防団協力事業所制度の導入

平成 29 年 4 月 1 日現在、1,283 団体において消防団協力事業所制度が設けられているところ、未だに制度を導入していない市町村においては、早急に同制度を導入すること。また、消防団協力事業所に対する入札参加資格の加点等の優遇措置を積極的に導入すること。

##### ○ 在勤者の消防団への加入に係る条例改正

平成 29 年 4 月 1 日現在、1,300 団体において在勤者の入団が認められている。未だに在勤者の入団を認めていない市町村においては、入団要件を居住者のみに限定せず、在勤者の入団も認めるよう早急に条例改正を行うこと。

#### (2) 大学生等の消防団への加入促進

##### ○ 大学等への働きかけ

大学生等の消防団員は年々増加し、平成 29 年 4 月 1 日現在で 3,970 人となっており、これらの学生消防団員については卒業後においても地域防災の担い手となることが期待される。このため、学生の消防団への加入促進、学生消防（分）団の設置、消防団活動に参加する学生等に対する修学上の配慮、学生等の消防団活動の積極的な評価等について、大学等に対して積極的に働きかけを行うこと。

##### ○ 学生消防団活動認証制度の導入

平成 29 年 4 月 1 日現在、学生消防団活動認証制度については 189 団体での導入にとどまっている。このため、特に、大学等が管内に所在する市町村又は大学生等が居住する市町村においては、早急に同制度を導入すること。

○ 大学生等の消防団への入団に係る条例改正

大学生等の消防団への加入促進のため、条例上消防団員の任命資格として在学者を認めていない場合には、居住者及び在勤者とともに在学者を加えるよう、消防団員の任免に関する条例を改正すること。

○ 大学生等の消防団活動への理解促進

大学生等の消防団活動への理解を促進し、消防防災活動、ひいては消防団への加入へとつなげるため、大学等と連携し、消防防災活動に係る講演会の開催や防災訓練の実施等に取り組むこと。

(3) 女性の消防団への加入促進

女性消防団員数は年々増加し、平成 29 年 4 月 1 日現在で 24,980 人となっているが、全消防団員に占める割合は 2.9%にとどまっている。このため、女性の消防団への入団促進に積極的に取り組むとともに、特に、女性消防団員が所属していない消防団においては、女性の加入について早急に取り組むこと。

(4) 公務員等の消防団への加入促進

平成 29 年 4 月 1 日現在、公務員の消防団員数は 67,151 人となり、年々増加しているものの、全消防団員に占める公務員の割合は 7.9%にとどまっている。このため、市町村職員の消防団への加入促進を図ること。また、国や都道府県の出先機関等が所在する市町村においては、都道府県と連携し、都道府県職員や国家公務員の消防団への加入促進を図ること。

さらに、地域社会と緊密な関係を持つ日本郵政株式会社社員についても、消防団への加入を促進すること。

(5) 機能別団員制度の導入

平成 29 年 4 月 1 日現在、機能別団員は 19,004 人となり、年々増加している。機能別団員制度を活用することで、幅広い層の住民から消防団員を確保することが可能になる。特に、大規模災害対応には一定数のマンパワーの確保等が必要と考えられることから、機能別団員・機能別分団制度について未だ導入していない市町村については、導入について早急に検討すること。

2. 消防団員の身分取扱い

(1) 定年制の撤廃等

平成 29 年 4 月 1 日現在、約 25%の団体において未だ定年制が設けられている。高齢化が進展している社会情勢や定年制の運用による消防団員数の減少に鑑み、定年制を設けている市町村においては定年年齢の引上げ、制度撤廃について、条例改正その他必要な措置を検討すること。

また、あらかじめ役員の任期満了による退団等が見込まれる場合には、計画的に団員の確保を図ること。

#### (2) 年額報酬の引上げ

消防団が厳しい状況の中で災害対応に当たることにより、活動の実態に応じた報酬等を支給する必要がある。特に報酬が低い市町村においては、地方交付税措置額の水準（団員の年額報酬 36,500 円）を踏まえ、早急に報酬の引上げを行うこと。

#### (3) 報酬等の支給方法

消防団員に対する報酬等の支給方法については、消防組織法第 23 条の規定に基づき、各市町村の条例で定められているところ、報酬、出動手当等は、その性格上本人に支給されるべきものであるため、適正に支給すること。

### 3. その他

○ 条例定数と実団員数に乖離がある消防団にあつては、地域の防災力を向上させる観点から、早急に条例定数を満たすよう団員数の確保を図ること。なお、組織再編等により条例定数等を削減することなどについては慎重を期すこと。

○ 消防団の装備の基準の改正（平成 26 年 2 月 7 日）に併せて地方交付税が大幅に拡充されたことを踏まえ、消防団の装備の集中的・計画的な配備に向けて、平成 30 年度当初予算において予算化するよう検討すること。

また、糸魚川市大規模火災を踏まえ、平成 29 年 5 月 19 日付け消防消第 117 号において通知したとおり、シールド付防火帽等の安全装備の充実や情報通信機器の集中的・計画的な配備を進めること。

## 神奈川県横浜市

### ● 女性団員確保の取組

- ・サラリーマン団員の増加に伴い、平日昼間に活動可能な人材が不足したことから、女性団員の更なる確保を検討
- ・ヤクルトレディの勧誘を強化し、管内5消防団に入団
- ・子どもをもつ女性消防団員のため、訓練時に託児所を設置
- ・団員数：㊸7,378人（うち女性団員1,071人）→㊹7,669人（うち女性団員1,175人）

## 福井県福井市

### ● 女性消防団員の任用

- ・市民に対してAEDの使用方法や応急手当等の指導を行う女性消防団員を新たに任用
- ・条例定数を引き上げ（1,011人→1,055人）
- ・団員数：㊸ 986人（うち女性団員 8人）→ ㊹ 1,000人（うち女性団員29人）

## 岐阜県羽島市

### ● 女性の機能別団員の活用

- ・女性15名からなる「女性消防団」（機能別団員）として本部付けで活動
- ・ひとり暮らし老人宅への防火訪問、自主防災組織等への防火指導 等で活躍
- ・団員数：㊹396人（うち女性団員15人）

## 愛知県小牧市

### ● 「女性消防団」の発足

- ・平成29年4月、「女性消防団」が発足し、女性団員16人が入団
- ・活動内容：地区防災訓練の訓練指導、救命講習の指導、大規模災害発生時の活動等
- ・団員数：㊸123人（うち女性団員0人）→㊹138人（うち女性団員16人）

## 秋田県大館市

### ● 学生団員（秋田看護福祉大学の学生）の入団促進

- ・福祉医療系の大学生で構成する機能別消防分団を設置（平成25年4月～）
- ・活動内容：大規模災害発生時の避難所運営、応急救護所の運営等
- ・団員数：㉗1,086人（うち学生団員21人）→㉘1,092人（うち学生団員32人）→㉙1,086人（うち学生団員47人）

## 埼玉県坂戸市

### ● 大学生機能別消防団員の入団

- ・団員のサラリーマン化が進み、特に平日昼間の大規模災害時等には活動可能な基本団員が限られる可能性があることから、平成29年4月、市内の大学に通う大学生機能別団員を導入
- ・あわせて「学生消防団活動認証制度」も導入。
- ・活動内容：大規模災害時の避難所支援活動、予防啓発活動、消防団行事への参加等
- ・団員数：㉘233人（うち学生団員2人）→㉙271人（うち学生団員41人）

## 愛知県春日井市

### ● 学生分団（機能別消防分団）の創設

- ・平成28年5月、中部大学と連携し、学生のみで構成する機能別消防分団（30人）を創設
- ・活動内容：大規模災害時の避難所運営、応急手当の普及活動等
- ・団員数：㉘117人（うち学生団員6人）→㉙151人（うち学生団員40人）

## 岐阜県各務原市

### ● 学生団員（機能別消防団員）の入団促進

- ・平成29年1月、学生のみで構成する機能別消防団員制度を導入
- ・活動内容：火災予防啓発、救命講習、広報活動等
- ・団員数：㉘726人（うち学生団員5人）→㉙754人（うち学生団員33人）

## 北海道上川町

### ● 活動地区を限定した機能別消防分団制度の導入

- ・平成29年2月、一部の地区内の災害のみに出動を限定した機能別団員が所属する分団を創設
- ・団員数：㊸61人（うち機能別団員0人）→㊹79人（うち機能別団員19人）

## 岩手県八幡平市

### ● 消防OBからなる機能別消防団員制度の導入

- ・平成28年4月、消防OBから構成される機能別団員制度を導入
- ・活動内容：火災、災害時の活動等
- ・団員数：㊸748人（うち機能別団員0人）→㊹810人（うち機能別団員81人）

## 宮城県山元町

### ● 機能別分団の導入

- ・平成28年8月、機能別分団を設置。退団したOB団員が入団
- ・団員数：㊸294人（うち機能別団員0人）→㊹311人（うち機能別団員15人）

## 千葉県芝山町

### ● 機能別分団制度の導入及び条例定数の引き上げ

- ・機能別分団制度及び機能別団員制度を導入し、これまでの町役場消防隊及び消防団OBの身分を機能別消防団員として位置づけ
- ・あわせて、平成28年12月より条例定数を引き上げ（320人→380人）
- ・団員数：㊸295人（うち機能別団員27人）→㊹356人（うち機能別団員102人）



## 石川県金沢市

### ● 消防職員・消防団OBからなる機能別消防団員制度の導入

- ・平成29年4月、消防職員・消防団OBで構成する機能別消防団員制度を市内全ての消防団で導入
- ・活動内容：大規模災害時及び所属分団の区域で発生した火災における基本団員の活動支援等
- ・団員数：㊸1,101人（うち機能別団員0人）→㊹1,210人（うち機能別団員101人）

## 福井県鯖江市

### ● 女性のみで構成する機能別分団の発足

- ・平成29年4月、女性のみで構成する機能別分団が発足
- ・活動内容：防火広報、応急手当技術の普及啓発活動、初期消火活動、災害時の避難所等での支援活動等
- ・団員数：㊸214人（うち女性団員17人）→㊹233人（うち女性団員41人）

## 岐阜県山県市

### ● 日中の消火活動等に限定した機能別消防団員制度の導入

- ・平成29年4月、平日の昼間の時間帯に消防団員を確保し、火災に出動する支援隊（機能別消防団員）を導入
- ・主に消防団歴が5年以上のOB団員が所属
- ・団員数：㊸474人（うち機能別団員77人）→㊹540人（うち機能別団員178人）

## 岐阜県揖斐川町

### ● 消防団OBを中心とした機能別消防団員制度の導入

- ・平成28年度に機能別団員制度を導入。
- ・OB団員にも積極的に声をかけ勧誘を継続
- ・団員数：㊸647人（うち機能別団員65人）→㊹700人（うち機能別団員119人）

## 佐賀県大町町

### ● 新規採用職員の加入促進

- ・ 町役場新規採用職員 6 名が入団。また、風水害等有事のみ活動を行う支援団員（機能別団員）にも 5 名が入団
- ・ 団員数：㉘198人（うち地方公務員47人） → ㉙216人（うち地方公務員54人）

## 長崎県佐世保市

### ● 新規採用職員の加入促進

- ・ 平成27年5月より、市役所新規採用職員を防災研修の一環として消防団へ入団
- ・ 団員数：㉘1,699人（うち地方公務員87人） → ㉙1,723人（うち地方公務員125人）

## 山梨県甲府市

### ● 分団の定数改正

- ・ 規則で定められた各分団の定数を地域の実情等を考慮した数に改正し、入団を断っていた分団で新規入団受入れが可能となり、団員数が増加
- ・ 団員数：㉘1,237人 → ㉙1,248人

## 長野県野沢温泉村

### ● 定年の廃止等、機能別消防団員としての再入団勧奨

- ・ 条例で定める定年規定を廃止（平成28年度）するとともに、団員数の減少に歯止めがかからない状況から、分団ごとに内規で決められていた退団年齢の引き上げを申し合わせし、退団数が減少
- ・ また、機能別消防団員制度（火災・大規模災害時の出動）を導入し、退団する基本団員に再入団するよう勧奨
- ・ 団員数：㉘161人（うち機能別団員0人） → ㉙177人（うち機能別団員11人）

### セコム株式会社 (東京都特別区)

※ 数値は平成28年12月時点

- 従業員数：約15,500人、団員数：100人
- 社内通達で消防団への加入を呼びかけ、社をあげて消防団活動に協力
- 勤務時間中の消火活動や訓練等への参加は、有給休暇として扱うこと、勤務時間中の活動等については上司が協力すること等を社内通達に明記

### 新日鐵住金株式会社 和歌山製鐵所 (和歌山県和歌山市)

※ 数値は平成28年12月時点

- 従業員数：1,943人、団員数：40人
  - 消火資機材の援助、自衛消防隊の派遣に係る協定を近隣市及び事業所と締結
  - 自衛消防隊に所属する消防団員は、会社近隣で発生した災害に積極的に応援出動
  - 勤務時間中の出動は、有給休暇として扱うことを就業規則に明記
- ※ その他、災害時や訓練時等に事業所の資機材等を消防団に提供。近隣消防団への車両の貸与、分団器具庫の土地の提供。工場埋立地を訓練場として提供。常備消防、消防団、自衛消防隊との合同訓練など。

### 王子製紙株式会社 富岡工場 (徳島県阿南市)

※ 数値は平成28年12月時点

- 従業員数：305人、団員数：30人
- 就業規則中に消防団員の活動に関する特例（勤務時間中の出動も出勤扱いとする等）を明記
- 自衛消防組織の構成員（50名程度）の中から、30名が消防団に入団

### 日本郵便（株）松山中央郵便局 等 (愛媛県松山市)

※ 数値は平成29年4月時点

- 団員数：69人
- 大規模災害時における防災情報通報、避難情報提供、避難誘導支援、負傷者救護、警戒監視等を役割とする機能別団員として活動
- 松山中央郵便局、松山南郵便局、北条郵便局、松山西郵便局の協力を得て、市内全域をカバーする体制を確立